

甚小だより

# 明日咲くつぼみ



あま市立甚目寺小学校

平成27年度 第14号

平成28年 2月19日

## 1年のまとめを 校訓「善く生きる子」

早いもので2月も後半に入りました。それぞれの学年の学習や活動も残すところ約1ヶ月です。4月の始業式の際に全校児童に次のような話をしました。

- ・ 校訓「善く生きる子」とはどうすることなのか。
- ・ 1年かけて自分なりの答えを持ってほしい。そして自分の言葉でその答えを話せるようになってほしい。

このような内容でした。自分なりの答えを出すときがやってきました。6年間、毎年自分なりの答えを積み上げていくことに意義があります。毎年違う内容であれば6通りの「善く生きる」、毎年同じであれば1本筋が通った「善く生きる」答えとなります。自分の答えを自分の言葉で表現することは、自分の心にしっかり根付くことにつながっていきます。家庭でも1年間を振り返る機会をもっていたいただくと、子どもたちもしっかり考えることができると思います。



【地域とつながる 5年 てづくり朝市】

## おやじの会「星空教室」

2月14日(日)、おやじの会のみなさんによる「親子星空教室」が開催されました。心配された雨は午前中に上がり、午後からは晴れ間がのぞき、期待が高まりましたが、夕方から空は雲に覆われ、体育館での星空教室となりました。星についての解説には、津島天文クラブのみなさんに来ていただき、丁寧に教えていただきました。

また、おやじの会のみなさんの手で、イルミネーションや教室の窓を利用した飾り付けが行われ、星空教室の雰囲気盛り上げていただきました。都市化が進み、街灯の明かりでなかなか多くの星を見ることができない甚目寺です。星空への関心を高める貴重な機会となりました。おやじの会、津島天文クラブの皆様にご心より御礼申し上げます。



【体育館にじんちゃんが・・・】

## 気持ちのよいスタートの裏側で

登校し、昇降口から校舎そして教室に入ったときに、ごみやほこりがなく、きちんと整頓されていると、気持ちよく1日のスタートを切ることができます。子どもたちの美化委員会では、「気持ちのよい1日のスタート」のために始業前に廊下のモップがけを始めました。毎日当番と分担を決めて取り組んでいます。

「人は環境によってつくられるが、その環境をつくり出すのは人である」と言われます。整った環境は整った心を育むことにつながっていきます。そして整った環境を作り出すのは、気持ちよく生活しようという心です。こうした活動が子どもたちの環境への意識の高揚につながることを期待しています。

